

令和2年度

「探究基礎」 ディベート学習ノート



班の論題	
立場	肯定 / 否定 (○をつけてください)
役割	立論 / 尋問 / 第1反駁 / 第2反駁 / チーフ (○をつけてください)

ディベート大会が終わったら、このノートを集めて、探究基礎の成績をつけます。調べたこと、準備したことはすべてこのノートに書き込みましょう。
欄が足りない場合は別の紙に書いてもかまいませんが、提出の際にその紙もホッチキスでこのノートに留めるなどしてください。

石川県立小松高等学校

1___ H NO. () 名前 ()

ディベート（討論会）とは何か

①「探究基礎」の授業でディベートを行う意義

小松高校SSHのテーマ

「正答のない問題を主体的・協働的に解決することができる探究力を持った人材の育成」

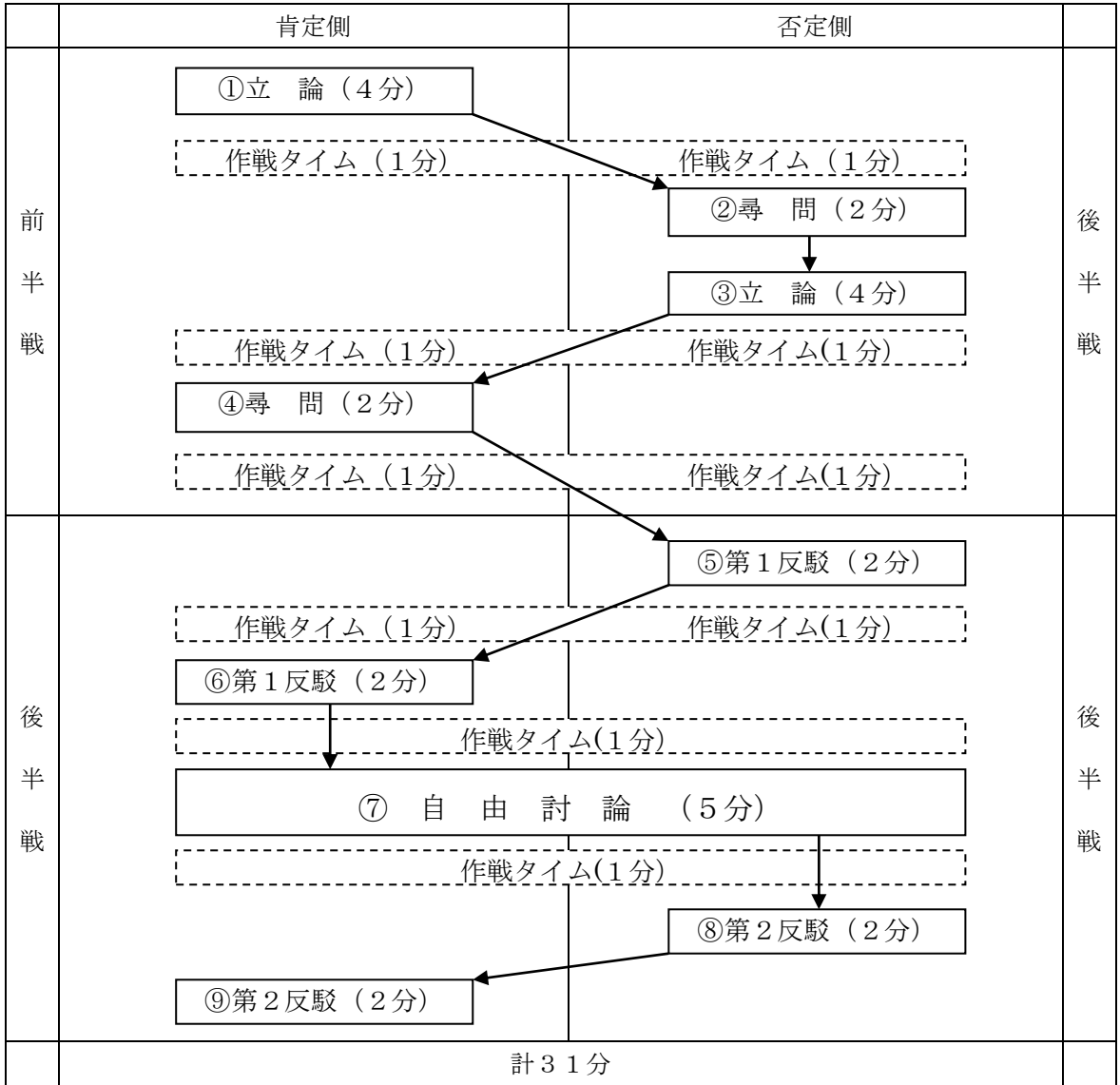
正答のない問題

主体的・協働的に

探究力を持った人材

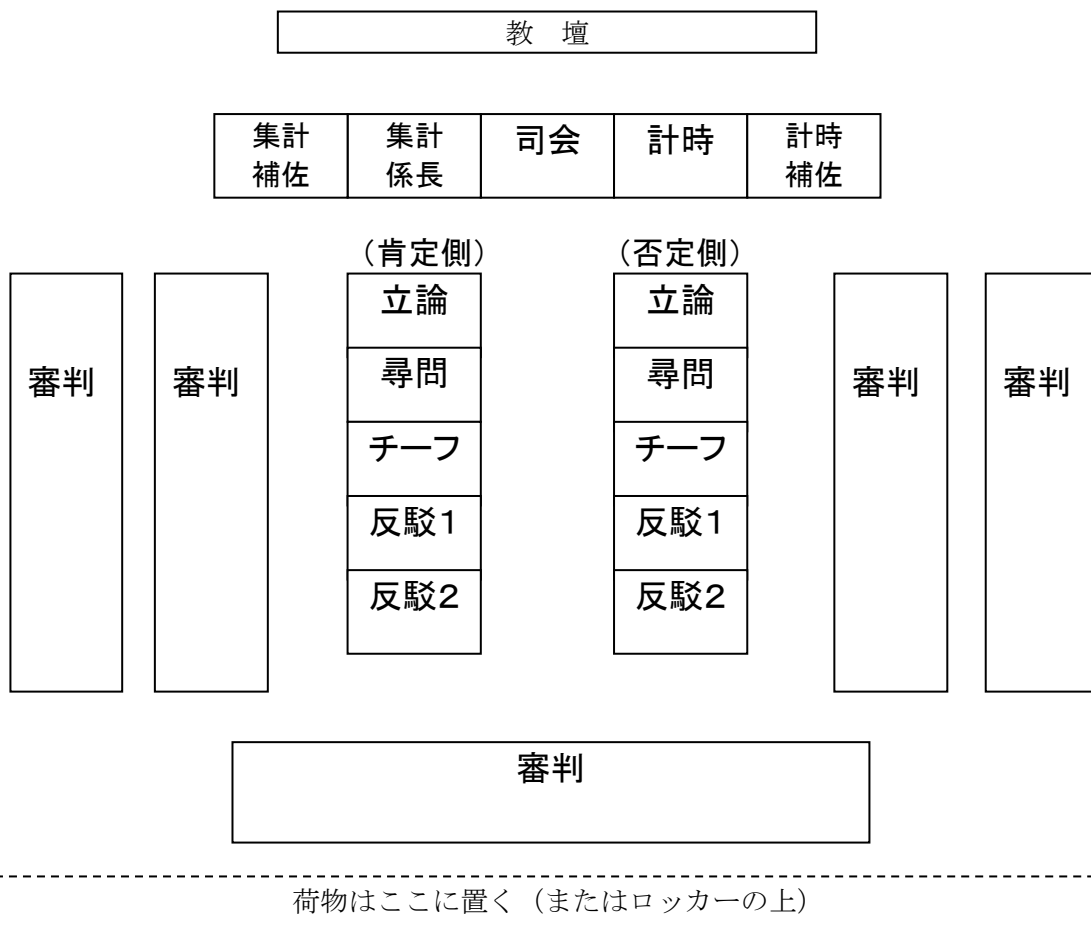
②ディベート（討論）を成立させるために（証拠による論証）

小松高校討論会のフローチャート



- ①肯定側立論 メリットが発生することとその重要性を、根拠（証拠資料）を伴って説明する。
- ②否定側尋問 肯定側の立論について、根拠のわからない点や矛盾点などの確認をする。
- ③否定側立論 デメリットが発生することとその重要性を、根拠（証拠資料）を伴って説明する。
- ④肯定側尋問 否定側の立論について、根拠のわからない点や矛盾点などの確認をする。
- ⑤否定側第1反駁 尋問で確認したことなどに基づいて、肯定側立論に反論する。
- ⑥肯定側第1反駁 尋問で確認したことなどに基づいて、否定側立論に反論する。
- ⑦自由討論 ここまでの議論を踏まえ、自由に意見を出し合う場である。
- ⑧否定側第2反駁（否定側最終弁論） 肯定側第1反駁に再反論し、メリットとデメリットを比較してデメリットが上回っていることを訴える。
- ⑨肯定側第2反駁（肯定側最終弁論） 否定側第1反駁に再反論し、メリットとデメリットを比較してメリットが上回っていることを訴える。
- ★チーフ 立論以外において、自由にチームの各発言者の補足ができる（小松高校ルール）。

座席表（ディベート大会当日は下のように机を配置し着席します）



モデルディベート

論題：高校でも給食を導入すべきである。

下にモデルディベートの内容を簡単に書きとめてみましょう。

①肯定側 立論	
②尋 問	
③否定側 立論	
④尋 問	
⑤否定側 第1反駁	
⑥肯定側 第1反駁	
⑦自由討論	
⑧否定側 第2反駁	
⑨肯定側 第2反駁	

肯定側・否定側 どちらが勝ったと思いますか？

小松高校討論会の心得

①肯定側立論

肯定側立論はじめに言葉の定義を行い、プラン、メリット（その政策を実行したら得られる利点）で構成します。

（1）定義・プラン

肯定側は「現状は悪い」という立場なので、それを変えるためのプランを提示します。プランはその政策を具体的にどのように実施するかを述べます。小松高校のディベートでは、時間を節約するために、定義とプランはすでに決まっています。

（2）メリット

メリットは二つ挙げることができます。メリットは…

○現状（今の困った状況）

○発生過程（そのプランを実行したらどのように事態が改善するか）

○重要性（深刻性）（その改善された内容がどのように価値があるか）

を証拠をあげながら、論理的に説明します。証拠がないと論は弱くなります。

モデルディベートでは

「肯定側の第一立論を始めます。先ず定義を述べます。給食とは、生徒が対価を払うことによって学校から提供される、原則全員同一の食事を指します。

次にプランを述べます。プランは、学校が外部業者に委託し昼休みに給食を提供します。

メリットは、2個あります。

一つ目は「栄養バランスが取れる」ことです。

現状では、手作り弁当でも好きなものばかり入っていたり、コンビニで弁当を買ったりして、高校生の昼食のバランスが取れていません。

発生過程を述べます。農林水産省によれば、毎日食べている給食には、主食、主菜、副菜、牛乳・乳製品、果物という5つの料理グループがそろっています。また給食は、私たちのからだに必要なエネルギーの約3分の1がとれるように、栄養士さんが献立を考えています。よって、給食の導入によって高校生の栄養バランスは大きく改善します。

重要性を述べます。バランスの悪い食生活を続けていけば、生活習慣病につながります。私たちにとってバランスの良い食事は絶対に必要です。

二つ目のメリットは「親の負担が減る」です。（省略）

以上2点のメリットから、私たちは「高校でも給食を導入すべきである」と主張します。

②否定側尋問

尋問では相手の立論の確認を行います。聞き取れなかったところ、あいまいなところなどを質問し、反駁で有利な反論ができるように、証拠不十分な部分、論理の弱い部分を見つけ出します。

・親の負担というのは給食費のことですか？

・外部業者に委託した上で、栄養バランスがとれるということですか？

（他に考えられる質問）

- ・1番目のメリットの発生過程をもう一度言ってください。
- ・2番目のメリットでの引用文献の出典をもう一度言ってください。
- ・その本の著者の肩書きを教えてください。
- ・1番目のメリットで～と言いましたが、証拠はありますか？
- ・1番目のメリットでの引用文献をもう一度読み上げてください。
- ・～と言いましたが、根拠を教えてください。

(攻撃的質問の例)

- ・ 1 番目のメリットの発生過程で、～（原因）だから～（結果）とおっしゃいましたが、それはなぜ～（原因）だから～（結果）なのですか？
- ・ 1 番目のメリットについてですが、～（別の根拠）と考えれば、～（相手の主張）は成立しないのではありませんか？
- ・ 1 番目のメリットでの引用文献の筆者は、～（筆者の立場や所属）ですから、本来論題を肯定する側の立場にあり、中立的な立場の人とは言えないのではありませんか？
- ・ 1 番目のメリットで～（根拠）とおっしゃいましたが、それを裏づける証拠はありますか？
- ・ 2 番目のメリットは現状を、～（現状の改良方法）のように改革すれば達成できるのではありませんか？

③否定側立論

否定側立論は肯定側の定義、プランを認め、デメリット（その政策を実行したら発生する問題点）を述べます。

(1) 定義・プラン

否定側は「現状が良い」という立場です。プランは出せません。

(2) デメリット

デメリットは二つ挙げることができます。デメリットは…

○**現状（現在の特に問題のない状況）**

○**発生過程（肯定側のプランを実行したらどのように事態が悪化するか）**

○**重要性（その悪化した状況がどれくらい深刻であるか）**

を証拠をあげながら、論理的に説明します。証拠がないと論は弱くなります。

モデルディベートでは

「否定側の第一立論を始めます。定義は肯定側のものを認めます。

デメリットは、2個あります。

1 番目は「アレルギーを持っている生徒にとって危険である」ということです。

現状では、高校では給食ではないため、保護者が生徒の昼食を準備しており、問題はありません。しかし、給食のある小・中学校では給食のアレルギー事故が続発しています。2013年2月21日放送NHKクローズアップ現代によれば、アレルギーに気を付けて提供されていたにもかかわらず、小学生の女の子が亡くなるという事故がありました。

発生過程を述べます。この事故では、アレルギーに気を配って提供されていたはずの給食で、アレルギーのある食品が含まれていることが見過ごされたために起こりました。よって危険は完全に防ぐことができません。

重要性を述べます。アレルギーについては命に関わるものであり、重大な問題です。

二つ目のデメリットは「給食はお金がかかる」です。（省略）

以上2点のデメリットから、私たちは「高校では給食を導入すべきではない」と主張します。

④肯定側尋問

尋問では相手の立論の確認を行います。聞き取れなかったところ、あいまいなところなどを質問し、反駁で有利な反論ができるように、証拠不十分な部分、論理の弱い部分を見つけ出します。

- アレルギーについては献立に載せてあるから大丈夫ではないですか？
- お金がかかるというのも、予算を決めて提供すれば安価が可能ではないですか？
(他に考えられる質問)
 - 1番目のデメリットの発生過程をもう一度言ってください。
 - 2番目のデメリットでの引用文献の出典をもう一度言ってください。
 - その本の著者の肩書きを教えてください。
 - 1番目のデメリットで～と言いましたが、証拠はありますか？
 - 1番目のデメリットでの引用文献をもう一度読み上げてください。
 - ～と言いましたが、根拠を教えてください。

(攻撃的質問の例)

- 1番目のデメリットの発生過程で、～(原因)だから～(結果)とおっしゃいましたが、それはなぜ～(原因)だから～(結果)なのですか？
- 1番目のデメリットについてですが、～(別の根拠)と考えれば、～(相手の主張)は成立しないのではありませんか？
- 1番目のデメリットでの引用文献の筆者は、～(筆者の立場や所属)ですから、本来論題を否定する側の立場にあり、中立的な立場の人とは言えないのではありませんか？
- 1番目のデメリットで～(根拠)とおっしゃいましたが、それを裏づける証拠はありますか？
- 2番目のデメリットは、プランによってではなく～(デメリットを引き起こす別の要因)によって引き起こされるのではありませんか？

⑤否定側第1反駁

尋問で明らかになった点を中心に、肯定側立論に反論します。肯定側メリットの発生過程、重要性について、証拠をあげながら、論理的に反論します。証拠がないと論は弱くなります。

各メリットの発生過程、重要性に対してそれぞれ反論できると理想的です。事前に相手の論を予想し、反駁の準備をしておきましょう。

モデルディベートでは

メリットの1番目栄養バランスについてですが、お弁当でもある程度のバランスは取れるし、お昼にそこまでバランスを取らなくても朝や夜で調整できるので良いのではないのでしょうか。

2番目に親への負担が減ると言いましたが、実際にお弁当とあまり金額的に差がないというデータがあります。本校の生徒には農村部で暮らしている人も多く、家で作ったものを利用すれば給食よりはるかに安価で済みます。以上より、否定側は給食にしなくてもよいと主張します。

⑥肯定側第1反駁

尋問で明らかになった点を中心に、否定側立論に反論します。否定側デメリットの発生過程、重要性について、証拠をあげながら、論理的に反論します。証拠がないと論は弱くなります。

各デメリットの発生過程、重要性に対してそれぞれ反論できると理想的です。事前に相手の論を予想し、反駁の準備をしておきましょう。

モデルディベートでは

「デメリットの1番目のアレルギーについてですが、献立に載っていたり入学時にアレルギーの調査をしているから大丈夫です。代替メニューを用意したり、その日だけ弁当も可能にすれば良いと思います。2番目のお金がかかる、というのも、原則同一のメニューであるので、食材を大量に仕入れて作れば安価は実現します。以上、否定側が主張したデメリットは2つとも成立しません。」

<肯定側反駁・否定側反駁のポイント>

相手の主張に反論するには、以下の5通りが考えられます。

- ・相手の根拠の**矛盾を指摘**して、その主張は成り立たないと主張する
- ・別の**根拠を持ち出して**、相手の主張は誤りであると主張する
- ・**情報や証拠の不足を指摘**して、相手の主張は成り立たないと主張する
- ・相手の主張は認めるが、**その重要性がとるに足らない**と主張する

(↓次の文は否定側反駁についてのみ)

- ・相手の主張は認めるが、**現状の改良で同じ効果が得られるのでプランの実施は不要**と主張する

<「反駁の四拍子」で反駁をする>

反駁の四拍子とは次のようなものである。

- 1 相手の議論を引用する。
「肯定（否定）側は（メリット・デメリット）～の（現状/発生過程/重要性（深刻性））で…と言いました。」
- 2 自分たちの主張を述べる。
「しかし、それは…」（…には次のような主張が入る）
 - a 関係ありません
 - b 間違いです
 - c 重要（深刻）ではありません
 - d デメリットよりもメリットの方が（メリットよりもデメリットの方が）大きいです
 - e デメリットではなくメリットです（メリットではなくデメリットです）
- 3 根拠を示す。
「なぜかという、～だからです。（～という資料によると…だからです。）」
- 4 もう一度主張をくり返す。
「ですから～なのです。」

⑦自由討論

自由討論では、話す順番・内容などが事前に定められていません。チーフを中心としてグループの作戦を立て、発言したい人は挙手して、司会者の許可を得て発言してください。

ここまでの議論をふまえ、自由に意見を出しあう場となります。相手の論の矛盾をついたり、意味不明な点を問いただしたりと様々な展開が予想されます。いわば、立論、質疑、反論を総合した時間と言うことができます。最後の結論につながるような討論をすべきです。相手側の意見を聞き、感情的にならない、紳士的な態度が要求されます。自分たちの論の正当性をアピールする絶好の機

会です。

⑧否定側第2反駁（否定側最終弁論）

否定側第2反駁は議論全体を総括して、重要性（深刻性）の大きさ比べ、否定側のデメリットの方が肯定側のメリットよりも大きいことを論証します。

モデルディベートでは

先ほどの肯定側の反駁で、アレルギーは入学時の調査をしているということや、また代替メニューなどの案が示されていましたが、結局全員には提供できず、定義に反したものであるということを肯定側自身が証明しています。現在各家庭では、家にある食材や余ったものなども駆使して、安価で各家庭の味覚に添いなおかつ栄養バランスも満たした弁当作りが為されている場合が多く、そこに給食を導入することは各家庭に余計な支出をさせることにつながります。以上、メリットよりもデメリットの方が大きいため、高校に給食は必要ありません。

⑨肯定側第2反駁（肯定側最終弁論）

肯定側第2反駁は議論全体を総括して、重要性（深刻性）の大きさ比べ、肯定側のメリットの方が否定側のデメリットよりも大きいことを論証します。

モデルディベートでは

否定側の提示したデメリットはまったく成立していません。どんなものにも例外は発生します。アレルギーの生徒などに応じることは特別な事情を考慮した許容範囲と考えられます。一気に同じメニューを作ることが食材費のみならず電力やガス等の節約にもなり、家庭で作るより経済的と言えます。これにより肯定側は給食にすべきと主張します。また、先ほどお弁当と金額的に差がないというデータがあるといいましたが、どこからの引用なのか分からず根拠がありません。これにより肯定側は給食にすべきと主張します。

<第2肯定反駁・第2否定反駁のルール>

論点はすべて、立論の中で述べられていなければなりません。第2反駁で立論の論点と全く無関係の新しいメリット・デメリットを出すことはできません。

<第2反駁のポイント>

- 1 「価値の比較を行います。論題「 」に対して、肯定側は～というメリットを示し、否定側は…というデメリットを示しました。」
- 2 「二つを比較すると、メリット（デメリット）の方が重要です。」
- 3 「なぜかという、（今までの議論のまとめ）だからです。」
- 4 「ですからこの論題に関してプランを実行する必要性がある（ない）のです。」

その他

双方とも作戦タイムが設定してあります。チーフが中心になって、言いたいことをまとめるための時間として、有効に活用してください。

日本はすべての動物園を廃止すべきである。是か非か。

論題に対するあなたの意見

講義の内容を書きましょう

両方の講義の内容を受けて、もう一度あなたの意見をまとめてみましょう

日本は原子力発電をすべて廃止すべきである。是か非か。

論題に対するあなたの意見

講義の内容を書きましょう

両方の講義の内容を受けて、もう一度あなたの意見をまとめてみましょう

日本は遺伝子組換え食品の販売を禁止すべきである。
是か非か。

論題に対するあなたの意見

講義の内容を書きましょう

両方の講義の内容を受けて、もう一度あなたの意見をまとめてみましょう

ディベート論題レクチャー 講義④

日本はすべての乗用車を電気自動車に切り替えるべきである。
是か非か。

論題に対するあなたの意見

講義の内容を書きましょう

両方の講義の内容を受けて、もう一度あなたの意見をまとめてみましょう

ディベートの論題・定義・プラン

定義とプランを以下の通りにします。定義を指定しプランの分け方を以下のようにします。

①日本はすべての動物園を廃止すべきである。是か非か。

定義 「動物園」……動物(主に哺乳類、鳥類)を収集・飼育し、広く一般に公開・展示する施設のこと。

プラン ・今日本の動物園にいる動物は、世界の鳥獣保護区で保護する。
・2025年までに廃止する。

②日本は原子力発電をすべて廃止すべきである。是か非か。

定義 「原子力発電」……日本国内で現存している原子力発電所による発電。
「原子力発電を廃止する」……原子力発電所による発電を中止すること

プラン ・原子力発電を他の発電に切り替える。
・2030年までに廃止する。

③日本は遺伝子組換え食品の販売を禁止すべきである。是か非か。

定義 「遺伝子組換え食品」……体全体が人為的に導入された外来の遺伝子を持つ細胞からなる生物から作られた食品

プラン ・遺伝子組み換え食品の日本全国での販売をすべて禁止する。
・2025年から実施する。

④日本はすべての乗用車を電気自動車に切り替えるべきである。是か非か。

定義 「電気自動車」……電動モーターで車を駆動させる自動車で、走行中にCO₂や排気ガスを出さない。

プラン ・2025年から実施する。
・自動車税、補助金など、電気自動車に関連した優遇措置は、現行のまま(2020年4月時点)継続する。

班の論題・分担

班の論題		肯定・否定
------	--	-------

班のメンバーと役割

班	チーフ			
	立論		尋問	
	第1反駁		第2反駁	

ジャッジの方法について（ルーブリック）

小松高校のディベート大会の判定

通常のディベートは、同じチームが「肯定側」「否定側」の両方の準備をして対戦します。しかし、小松高校のディベートは時間が限られているため、どちらか一方の側しか準備せず、また対戦も肯定側、否定側がすでに決められた状態で行われます。そのため、小松高校では独自のジャッジ基準を持っています。

下の表を見てください。これはルーブリックというものです。審判（他のクラスの生徒）は、このルーブリックを見ながら、4段階5観点で点を付けていきます。このルーブリックを見れば、ディベートの準備をする上での注意点や、ディベート大会当日にはどのような点に気をつければよいかわかるはずです。よく読んで、しっかりと準備してください。

肯定側 ・ 否定側		()H()班			
	論理性・証拠	質疑応答の技術	発表の技術	聞く姿勢	チームワーク
3	論理が 一貫 しており、証拠が 十分 で証拠の 信頼度 も高い。	相手の 理論 を理解した上で、その論を十分に脅かす 質疑・応答 を行っている。	発言が 明瞭 で、 声も大きく 、聞き取りやすい。	相手の論証を真剣に聞き、 十分に理解 しようと努め、相手への 尊重 をもって対戦している。	全員が積極的に発言し、チーム内で 活発に話し合い を行い、 全員で協力 している。
2	論理的で証拠の信頼度は高いが、立証するには 不十分 であったり、 個人的な意見 であったりする。	相手の 論理 を理解し、 適切な質疑・応答 を行っている。	発言は おおむね明瞭 であったが、一部で聞き取りにくいところがあった。	相手の論証を聞き、その内容を踏まえて 誠実 に対戦している。	発言の量に多少偏りが見られるが、チーム内で 必要な話し合い を行い、 協力 している。
1	論理的で なかったり 、証拠が 不十分 だったり、 個人的な意見 の部分がある。	相手の論理を理解しようとしているが、 議論がかみ合わず 、質疑・応答が成り立たない。	発言が 明瞭でなく 、聞き取りにくい。	相手の論証を聞き、 不誠実 な態度で反応している。	一部の班員が多く発言しており、一部の班員同士が 最低限の話し合い を行っている。
0	論理が 破綻 しており、証拠が 不適切 である。	相手の 論理 を理解しようとせず、質問も適切でない。	聞き取れない 、または感情的に発言している。	ディベートに対する 意欲が見られず 、相手の論証を聞いていない。	誰も発言しようとせず、チーム内の 協力が見られない 。
点					
合計					

説得力のある主張をするためには

① 論点の発見

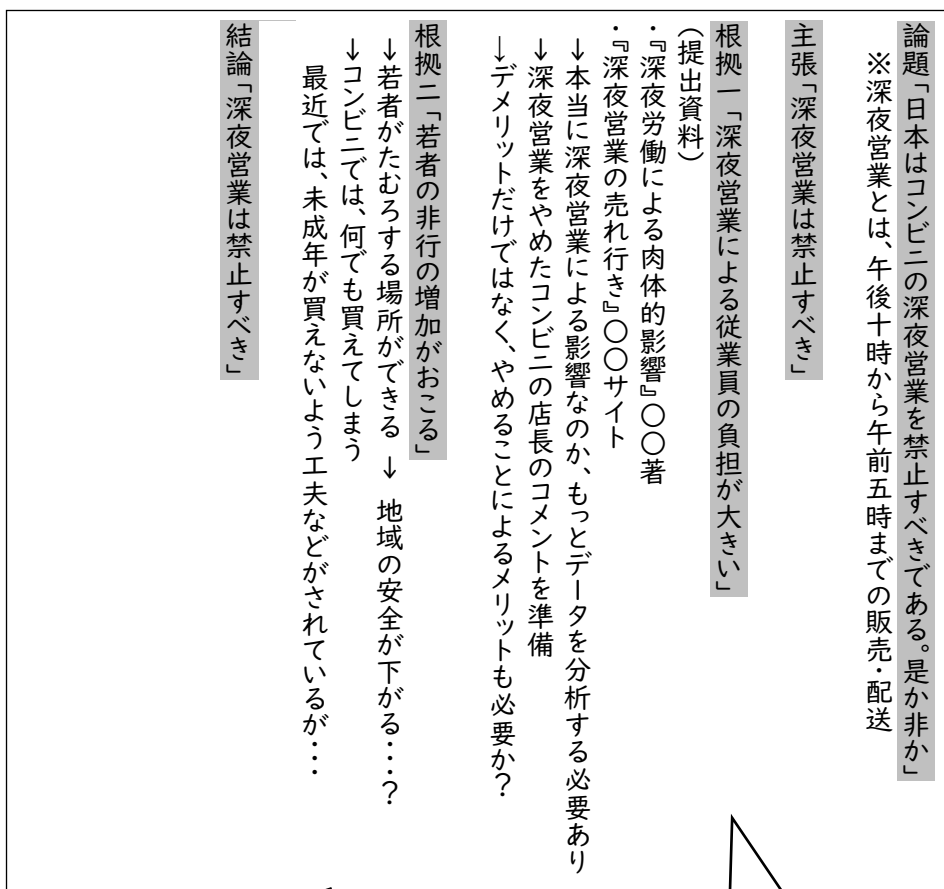
ディベートでは、各メンバーの弁論が一つに繋がることで説得力のある主張が完成する。

そのため、一人の論点のずれが命取りである。論点となりそうな箇所をあらかじめ発見し準備しておこう。論点の探し方は以下の通りである。

1. 主張したい立場に立ち、使えそうな根拠を探す
2. 反対の立場に立って根拠を探す
3. 両者を踏まえ、全体から肯・否の論点と根拠を把握しておく

② 論理構成

ディベートの場合、肯・否の立場→根拠1→根拠2→根拠3…→結論というように、論を組み立てる。違う人物がそれぞれのパートを担当するため、グループ全体で論理構成をあらかじめ練っておく必要がある。構成図を適宜、以下のように作っておこう。



論点となる箇所の根拠を書く。
提出資料、反対意見、対応策
などもメモ

主張と結論は同じ

実践してみよう！

論題「日本政府は、教科書をタブレットにするべきである。肯定か否定か。」
肯定 / 否定

なぜそう考えるのか、根拠をメモしよう。(必要なデータも記入しましょう。)

考えられる反対意見とは？

論題「日本政府は教科書をタブレットにするべきである。肯定か否定か。」

主張「

根拠一「

根拠二「

根拠三「

結論「

└

└

└

└

└

リサーチマニュアル

<情報ソース>

リサーチのために使う情報ソースには次のようなものが考えられます。

1) 書籍 2) 図書館 3) コンピュータ（インターネット） 4) 専門家（小松高校の先生）

「探究基礎」の授業時間は、図書館または情報室で情報検索を行うこととなります。その他に本を読むなどして、ディベートのテーマについて学習し思考を深めてください。

<インターネットによる情報収集の注意点>

書籍による情報収集では、その本の著者が信頼できる人か否かが問題になります。尋問の例の中にも「その本の著者の肩書きを教えてください」という質問がありましたね。著者が大学の先生だったり権威のある人ならばよいのですが、そうでない場合は信頼度は減り、論は弱くなります。

インターネットで情報収集する場合も同じです。そのウェブサイトが信頼するに足るものか否か、またその記事や論評を書いた人が信頼するに足るか否かで論の強さが決まります。たとえば、ウィキペディアや個人的なブログは証拠としてはほとんど無効です。情報検索をする上で以下の点を常に心がけましょう。

証拠の信頼度

その証拠・データの出どころはどこか

その証拠（出どころ）は信頼に足るか

信頼できるもの

信頼できる刊行物のデータ（政府・官公庁・国際機関等の刊行物）

信頼できる研究機関のデータ（大学、政府、大企業の研究所等）

権威ある研究者や人物の発言・著書（大学の先生や企業の研究者等）

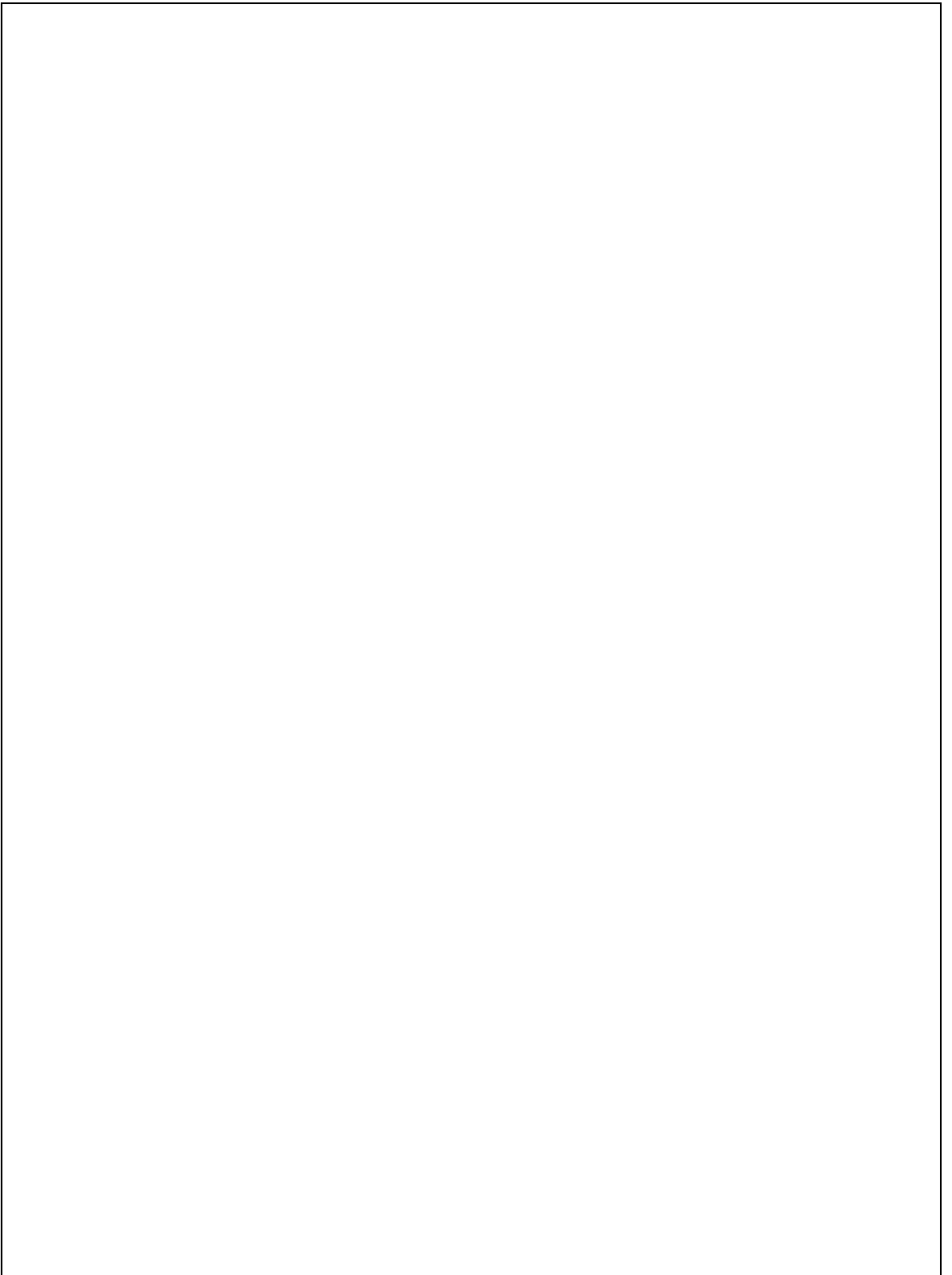
<客観的な数値の重要性>

客観的な数値（特に統計的な数値）は特に大切です。なるべく客観的な数値のデータを引用し強い立論をつくりましょう。**また、調べたデータについては、グラフや表にして大きな紙に書き、相手チームやジャッジに見せながらディベートを進めてください。**

情報検索(リサーチ)

先ず始めに、自分の班の論題について肯定・否定両方の立場から調べましょう。

立論のメリット(2つ)もしくはデメリット(2つ)になりそうな論を考えながら調べ、証拠のデータとなりそうなものもメモしておきましょう。



立論下書き用紙（肯定側・否定側）

情報検索は十分にできましたか？今日はその内容を受けて**班員全員で立論を作成**します。

先ず班でよく話し合って、

- 1) メリット or デメリット
- 2) (メリット or デメリットの) 発生過程
- 3) 証拠・データ
- 4) メリットの重要性 or デメリットの重要性

を考えてください。

あわせて、予想される反駁（どのように反論されるか）も考えましょう。

5ページ、6ページの
肯定側立論・否定側立論
の説明を熟読して下さい！！

○現状

○予想される反駁

○発生過程

○重要性

立論の立て方（フォーマット）

肯定側第一立論	否定側第一立論
<p>肯定側の第一立論を始めます。 まず定義を述べます。 【論題中の用語】とは【意味】を指します。 【論題中の用語】とは【意味】することを意味します。 次にプランを述べます。 【プランの説明】します。 次にプランを実行することで生じるメリットを述べます。 メリットは2個あります。</p> <p>メリットの1番目は【メリット1】です。 ・現状を述べます。【現状の説明】です。 ・発生過程を述べます。【メリットの発生過程の説明】です。 ・証拠資料を引用します。【発言者名】は、【出版年】年、その著書【著書名】で以下のように述べています。【引用内容】 ・重要性を述べます。【メリットの重要性の説明】です。</p> <p>次に、メリットの2番目です。メリットの2番目は【メリット2】です。 ・現状を述べます。【現状の説明】です。 ・発生過程を述べます。【メリットの発生過程の説明】です。 ・証拠資料を引用します。【発言者名】は、【出版年】年、その著書【著書名】で以下のように述べています。【引用内容】 ・重要性を述べます。【メリットの重要性の説明】です。</p> <p>以上、2点のメリットから、私たちは【論題】すべきだと主張します。</p>	<p>否定側の第一立論を始めます。 定義は肯定側のものを認めます。 次に肯定側のプランを実行することで生じるデメリットを述べます。デメリットは2個あります。</p> <p>デメリットの1番目は【デメリット1】です。 ・現状を述べます。【現状の説明】です。 ・発生過程を述べます。【デメリットの発生過程の説明】です。・証拠資料を引用します。【発言者名】は、【出版年】年、その著書【著書名】で以下のように述べています。 【引用内容】 ・重要性を述べます。【デメリットの重要性の説明】です。</p> <p>次に、デメリットの2番目です。デメリットの2番目は【デメリット2】です。 ・現状を述べます。【現状の説明】です。 ・発生過程を述べます。【デメリットの発生過程の説明】です。 ・証拠資料を引用します。【発言者名】は、【出版年】年、その著書【著書名】で以下のように述べています。 【引用内容】 ・重要性を述べます。【デメリットの重要性の説明】です。</p> <p>以上、2点のデメリットから、否定側は【論題】すべきではないと主張いたします。</p>

次のページから役割ごとに準備するページが始まります。

班員全員でよく話し合いながら準備をし、最後の第2反駁まで、全員で立論で述べた論点に沿って一貫性のあるディベートができるようにしましょう。

<各役割が取り組むページ>

1. 立論・・・21ページ～23ページ（立論担当だけでなく、全員が、しっかりメモを取っておこう。全ての論は立論に基づいているべき。）
2. 尋問・・・24ページ
3. 第1反駁・第2反駁・・・25ページ
4. チーフ・・・26ページ
5. それぞれの役割のチェックポイント・・・27ページ（各自の論が完成したら、確認しよう）
6. 班の作戦会議：各パートの論を検討し、改善しよう・・・28ページ

立論作成用紙（肯定側 or 否定側）

*19ページ「立論下書き用紙」、20ページ「立論の立て方（フォーマット）」を参考にして、この用紙を使って、立論を作成しよう。

論題 _____

①開始宣言 今から（肯定側・否定側）の立論を行います。	
②定 義	
③プラン(肯定側のみ)	
④メリット1／デメリット1	④メリット2／デメリット2
⑤メリット1／デメリット1の現状・発生過程	⑤メリット2／デメリット2の現状・発生過程
⑥メリット1／デメリット1の重要性	⑥メリット2／デメリット2の重要性

メリット1 or デメリット1の**現状・発生過程**の証拠資料

出典（ ）発行年（ ）

資料を転記あるいは貼付

メリット1 or デメリット1の**重要性**の証拠資料

出典（ ）発行年（ ）

資料を転記あるいは貼付

メリット2 or デメリット2の**現状・発生過程**の証拠資料

出典（ 資料を転記あるいは貼付	）発行年（ ）
--------------------	------------

メリット2 or デメリット2の**重要性**の証拠資料

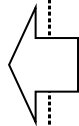
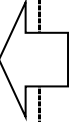
出典（ 資料を転記あるいは貼付	）発行年（ ）
--------------------	------------

尋問作成用紙（肯定側 or 否定側）

5、6ページ 否定側尋問
7ページ 肯定側尋問
の説明を熟読して下さい！！

論題

予想されるメリット1／デメリット1	予想されるメリット1／デメリット1に対して考えられる質問
予想されるメリット2／デメリット2	予想されるメリット2／デメリット2に対して考えられる質問



第1反駁は7ページ、8ページ、第2反駁は9ページの説明を熟読して下さい！！

第1反駁 or 第2反駁作成用紙（肯定側or否定側）

論題 _____

予想されるメリット1／デメリット1に対して	予想されるメリット2／デメリット2に対して
証拠、資料	証拠、資料

【第1反駁、第2反駁のフォーマット】

<第1反駁では証拠の有無や適切さ、論理性に反論します>

- 1「(肯定・否定)側のメリット・デメリット()には証拠資料がついていません。」
- 2「(肯定・否定)側の証拠資料は信用できません。その根拠は()だからです。」
- 3「(肯定・否定)側は()と立論で述べましたが、< >は[]となり、その(メリット・デメリット)は成立しません。」
- 4「(肯定・否定)側は立論で()と述べましたが、それは成り立ちません。なぜなら() だからです。」

<第2反駁ではメリットとデメリットの価値の比較を行います>

- 5 論題「 」に対して、肯定側は～というメリットを示し、否定側は…というデメリットを示しました。」
- 6「二つを比較すると、メリット(デメリット)の方が重要です。」
- 7「なぜかという、～(今までの議論のまとめ)だからです。」

このフォーマット
で説得力UP!

チーフのためのメモ欄（班の議論の要点をまとめよう）

チーフは立論以外のすべて（尋問・第1反駁・第2反駁）で、制限時間内ならば自由に挙手をして発言することができます。また、全員が自由に意見を述べることのできる自由討論でも中心となって意見を述べましょう。

<それぞれの役割のチェックポイント>

自分の原稿が出来上がったら確認しましょう。

- 班全員が立論の内容を理解していますか？強いチームは、全員で立論で述べた論点に沿って一貫性のあるディベートができます！
- 立論は4分です。読んでみて、長すぎたり短すぎたりしていませんか？
- 立論を何度も読み直して、**大きな声で、分かりやすく、ジャッジや相手チームに伝わるように読めるようになって**いますか？（班のメンバーに聞いてもらいましょう）
- 尋問は、相手の様々な立論を想定して、それぞれに対して考えましたか？
- 第1反駁は、相手の様々な立論を想定して、それぞれに対して考えましたか？
- 第2反駁は、立論・尋問・第1反駁までに班員がどのように発言するか理解していますか？
- 第2反駁は、自分たちの立論の強みを理解し、相手の立論とどのように比較するか考えましたか？
- 第1反駁・第2反駁は、2分です。言いたいことはコンパクトにまとまっていますか？
- チーフは立論以外のすべてで挙手をして発言することができます。班員の考えている内容が分かっていますか？
- チーフは試合当日、ディベート全体の流れを把握し、作戦タイムに班員にアドバイスできるようにしてください！
- 自由討論では、班員全員が積極的に発言することが大切。どんなことを言えばいいか、想定できていますか？

＜班の作戦会議：各パートの論を検討し、改善しよう＞

7月9日（木）の「クラス内マッチ」に向けて、班で各パートの論について話し合い、論の改善を行います。立論・尋問・第1反駁・第2反駁のそれぞれが準備した論を読み上げて、他のメンバーは聞いて、意見交換をします。「相手チームが、こう来たら、こう切り返す！」という戦略を立てよう。

4月 APRIL

日	月	火	水	木	金	土
12	13	14	15	16 第1回 モデルディベート (全体説明)	17	18
19	20	21	22	23 遠足	24	25
26	27	28	29	30第2回 論題レクチャー (②③④)		

5月 MAY

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7 第3回 論題レクチャー (①文章)	8	9 PTA総会 (月曜授業)
10	11 代休	第4回情報検索(各クラスでリサーチ)			15	16 17,18 ページ
17	18	19 中間考査	20 中間考査	21 中間考査	22 中間考査	23
24	25	第5回 立論下書き作成(グループ全員で)			29	19,20 ページ (21-23 ページも使える)

6月 JUNE

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4 県総体 県総文	5 県総体 県総文	6
7	8	9	10	11	12	19,20 ページ (21-23 ページも使える)
		第6回 立論完成(グループ全員で)				
14	15	16	17	18	19	19-26 ページ
		第7回 各パート(立論・尋問・反駁)作成				
21	22	23	24	25	26	19-26 ページ
		第8回 各パート(立論・尋問・反駁)作成・検討				
28	29 期末考査	30 期末考査				27,28 ページ

7月 JULY

日	月	火	水	木	金	土
			1 期末考査	2 期末考査	3 期末考査	4
5	6	7 ホート大会	8 予備日	9 第9回 クラス内 マッチ	10	11
12	13	14	15	16	19-26 ページ	
第10回		練習試合を受けて変更・再構築			終業式	
19	20 夏期補講	21 夏期補講	22 夏期補講	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月 AUGUST

日	月	火	水	木	金	土
						1
16	17 夏季補講	18 夏季補講	19 夏季補講	20 夏季補講	21 夏季補講	22
23	24	25	26 記念祭準備	27 始業式	28 文化祭	29 体育祭

9月 SEPTEMBER

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2 校内模試	3 第11回 クラス内 マッチ	4	5
6	7	8	9	10	11	12
第12回		練習試合を受けて変更・再構築				
13	14	15	16	17	18	19
				第13回 最終練習		
20	21 敬老の日	22 秋分の日	23	24 大会・第14 回振り返り		

MEMO

MEMO

【ディベート大会当日 自分の試合のメモ欄】